



地域おこし協力隊通信 vol. 4

園農林水産課

Tel 0855 (52) 7956



江津のコケの魅力伝える 全国各地で開催される イベントへの参加



江津市苔プロジェクト
推進コーディネーター
おのやま 優

コケ生産地といえは江津市

コケの生産と同じくらい重要なことが、宣伝活動です。県外で開催される展示会や商談会に継続的に出席することにより『コケ生産地といえは江津市!』と思ってもらえることを目的としています。活動を知らせてもらうことで、江津コケのブランド力が向上し、販路の獲得につながります。また消費者が何を求めているか知ること、新たな商品を開発や、品質向上を図ることができま

す。江津で開催するイベントの他、東京・大阪・京都・広島など人口の多い都市のイベントに参加します。2月には東京ビッグサイトで開催される商談会・ギフトショーに出展予定です。

販売会とワークショップ

展示会だけでなく、地域住民が地域の資源を活用して作った苔玉やテラリウムの販売を行ったり、ワークショップを開くこともあります

『コケ生産地』だけではなく、『楽しめる生産地』として地域住民との交流の場づくりも考えています。地域活性化のために今後もさまざまなイベントに参加・企画を予定しています。

今回は『魅せる生産地』にするための活動をご紹介します。

コケのからだの不思議

コケは「原始的な植物」といわれています。花や草木などと違い、土から水分や栄養を吸い上げる根や、それらを全身に運ぶための維管束がないためです。ではどうやって取り込んでいるのか……実はコケという植物はからだ全体から直接吸収しているのです。そのため湿度が高い環境を好みます。多くの種は葉の細胞が薄く、乾燥に弱いため、群生を作ることによって支え合いながら生きています。



①



②



③

①パレットごうつで開催されたホビー祭り。生産者や地域の人が作った苔玉やテラリウム、アクセサリーの販売をしました。②京都府立植物園の『苔・こけ・コケ展』では各地のコケ事業者が集まり、コケの展示や販売・ワークショップの体験もでき、多くの人を訪れ賑わいを見せました。③広島県T-SITEでは『52 KOKE PROJECT』の展示会を開催。会場では“触れる苔”の展示も用意。手でなでたりルーペで覗いたりすることができ、来場者からも好評でした。ワークショップ体験もあり、コケを楽しんでもらうことでコケ好きの輪を広げていこうという想いがあります。